

2022年度(第20回)「高峰記念第一三共賞」の受賞者として、大野博司博士(理化学研究所 生命医科学研究センター 副センター長)を選出しましたのでお知らせいたします。

受賞研究テーマ

「宿主-腸内細菌相互作用の統合的理解に関する研究」

大野博士は千葉大学医学部を卒業、医学博士を取得後、千葉大学助教授、金沢大学がん研究所教授、理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター チームリーダーを歴任され、2018年より理化学研究所 生命医科学研究センター チームリーダー、2022年には同研究所副センター長に就任。

大野博士は腸内細菌が宿主の健康や病態に及ぼす影響に着目し、特に粘膜関連リンパ組織を覆う特殊に分化した上皮層に存在する抗原取り込み細胞であるM細胞に関する研究を進めてきた、この分野での第一人者である。宿主-腸内細菌相互作用が宿主の生理・病理に及ぼす影響の分子メカニズムについて、この分野では世界をリードする研究成果を発信し続けている。

(所属機関・役職)

国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター 副センター長

同センター 粘膜システム研究チーム チームリーダー

(主な略歴)

1983年03月 千葉大学 医学部卒業

1991年03月 千葉大学大学院 医学系研究科博士課程修了

1991年04月 千葉大学医学部 助手

1994年04月 米国 NIH 訪問研究員

1997年05月 千葉大学医学部 助教授

1999年04月 金沢大学がん研究所 教授

2004年04月 理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター チームリーダー

2013年04月 理化学研究所 統合生命医科学研究センター グループディレクター

2018年04月 理化学研究所 生命医科学研究センター チームリーダー

2022年04月 理化学研究所 生命医科学研究センター 副センター長

(主な受賞歴)

2016年 安藤百福賞大賞

2016年 ベルツ賞(2等賞)

2018年 文部科学大臣表彰 科学技術賞

2018年 野口英雄記念医学賞

2021年 持田記念学術賞